

SHINSHU KYODAN RENGU
真宗教団連合 - その5

【真宗木辺派 錦織寺】

天安2年（西暦858年）比叡山三代座主慈覚大師円仁の御指示で、木部の地に御堂が建てられ毘沙門天王像が安置されました。

それから三百数十年後、親鸞聖人が関東から京都に還ろうとされた途中に、この天安堂に歩みを留められました。

親鸞聖人は笈におさめて常にお持ちになっていた阿弥陀如来の御尊像を安置されて、浄土真宗の教えをお説きになりました。この時から浄土真宗の湖東における中心になりました。

歴仁元年（1238）天女が蓮の糸で織った紫紅の錦を捧げて仏徳を賛美するという不思議なことがあって、このことを伝え聞いた時の四條天皇は「天神護法錦織之寺」の寺号と額を下されました。

御影堂は『教行信証』が完成した歓びのようすを、門侶の懇願によって画かれた「満足の御影」とよぶ画像を掲げています。

創建以来再度にわたる火災の為に、現在の建物は元禄年間以後再建されたものばかりですが、両堂表門などは江戸期建造の特徴を示しています。書院、大広間は東山院（江戸初期）の御常御殿を賜ったもので、これらの建物を囲んだ庭園は元禄の再建以前の石組が残されているようです。

第二十代孝慈上人は西本願寺明如上人の息男で西域探検で高名な大谷光瑞師の弟、歌人九條武子夫人の兄にあたり、明治29年に入山され、明治大正昭和の激動の中で、宗風宣揚に努められました。

第二十一代宣慈上人は天文学に造詣深く、天体望遠鏡のレンズ制作で吉川英治賞を受けられました。



錦織寺 御影堂



元禄の本堂再建以前の石組みの庭園



満足の御影

本堂内の換気を徹底し、参拝者にはマスク着用及びアルコール消毒液の使用をお願い致します。



「安居会（夏の法要）」（善教寺本堂）
六月 十九日（土）
午前九時～ 読経（正信偈）
午前九時半～ 朝席法話
午前十一時半 法要終了

講師 佐竹隆弘師
（山口県熊毛郡平生町極楽寺）

「宗祖聖人月忌・
門信徒祥月命日法要」（善教寺本堂）
四月 十六日（金）午後一時半～
*毎月十六日に本堂において勤めております。

「永代経法要」（善教寺本堂）
四月 十日（土）
午前九時～ 読経（正信偈）
午前九時半～ 朝席法話
午前十一時半 法要終了

講師 松枝崇師
（東広島市河内町入野長照寺）

今後の法要スケジュール

ご 縁 に 感 謝

善教寺ホームページ『縁』 <http://otera.or.jp/>

メール zenkyo@otera.or.jp